



2020年12月期 決算説明会

 **立川ブラインド工業株式会社**

(東京証券取引所 市場第1部 証券コード 7989)



目次

- 
- | | |
|-----------|-----|
| 1. グループ概要 | P 2 |
| 2. 決算概況 | P12 |
| 3. 今後の見通し | P22 |



1. グループ概要

会社概要 (2020年12月期)

立川ブラインド工業は、インテリア業界No.1を目指します

社名	立川ブラインド工業株式会社 証券コード7989
創業	1938(昭和13)年5月※昭和22年に株式会社改組
資本金	44億7,500万円
連結総資産	577億円
売上高	連結 399億円 (単体 313億円)
従業員	連結 1,243人 (単体 790人)
本社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業	各種ブラインド／間仕切／ カーテンレールの製造・販売・設計施工
	【営業拠点】 全国68カ所
	【製造拠点】 2工場3製作所
	【ショールーム】 13カ所
	【連結子会社】 8社



本社

インテリア関係が8割強を占める

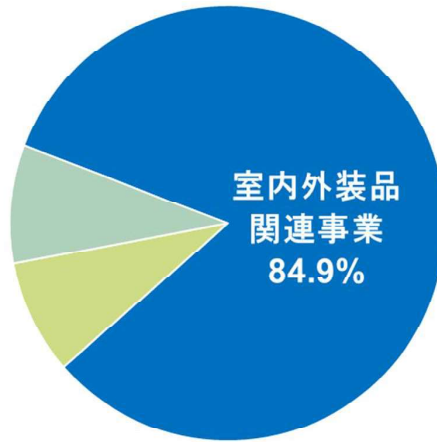
駐車場装置関連事業: 6.8%

売上高 2,701百万円
営業利益 227百万円



減速機関連事業: 8.3%

売上高 3,316百万円
営業利益 151百万円



室内外装品関連事業: 84.9%

売上高 33,962百万円
営業利益 4,156百万円

(2020年12月期実績)

富士変速機(株)

- 名証2部 資本金: 25億(当社55.6%保有) 従業員: 220名
- 2020年実績: 売上62億(前年比△17.2%) 経常利益: 3億 純利益: 1億
- 駐車場装置: エレベータ式立体駐車場装置
- 減速機: 汎用減速機(ギヤードモータ)・特殊減速機・シャッター駆動装置

高付加価値製品の提案による需要創造

近年、遮蔽性などの付加価値の高い高機能製品の開発、提案を中心とした需要喚起、ラインナップ拡充

ブラインドの特徴

- ・調光性・プライバシー・省エネ



ブラインドの優れた点をより進化させたヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」
2012年9月発売



ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」に「スリーウェイ」を新たにラインナップ
2014年6月発売



ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」に新機能「RDS(減速降下機能)」を搭載
2016年10月発売



安全性・操作性に優れた操作チェーンを採用したヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキーチェーン」
2019年7月発売



遮蔽性・意匠性に優れた電動プリーツスクリーン「ホームタコス フィュー」
2020年7月発売



スリムなフレームでスタイリッシュな間仕切「プレイス スウィング」
パネルデザイン拡充 2020年10月発売

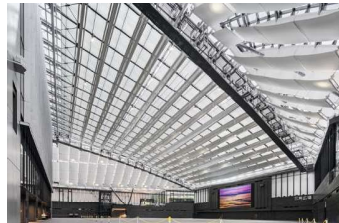
ブラインド用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、
お部屋をコーディネートする。

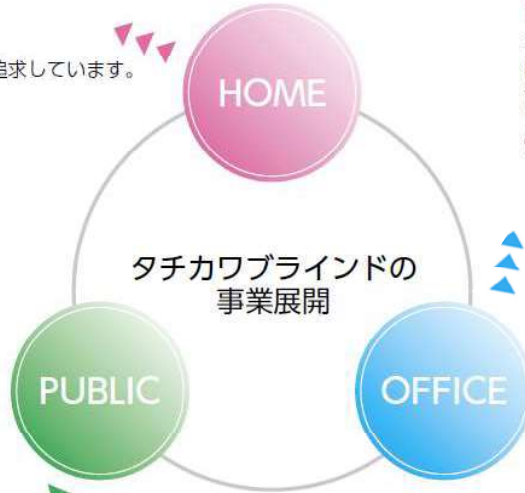
本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



パーフェクトシルキーチェーン



新宿住友ビル三角広場



高度化するビジネス空間を、
もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。



左:丸の内ビルディング
右:赤坂インターシティAIR

公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、病院、スポーツ施設など、
都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

多品種

【品目：800種以上】
色柄 ブラインド 307色・
ロールスクリーン 460アイテム 他

地域に密着した一貫体制の確立



— 各業務プロセスを内製化することにより、お客様の声をそのままカタチに —

短納期

【受注後 2～5日】
情報システムによるオーダーエントリーとリアルタイムの
製作指示・在庫管理・出荷の迅速処理

オーダー生産

【幅0.5cm・高さ1cm単位で製作】
サイズ・色柄・操作など
製品在庫は原則ナシ

支店・営業所 全国68カ所
ショールーム 国内12カ所・海外1カ所



《主要拠点にショールーム設置》

- 銀座ショールーム
 - 新宿ショールーム
 - 札幌ショールーム
 - 仙台ショールーム
 - 信越ショールーム
 - 横浜ショールーム
 - 名古屋ショールーム
 - 金沢ショールーム
 - 大阪ショールーム
 - 高松ショールーム
 - 広島ショールーム
 - 福岡ショールーム
 - 上海ショールーム
- ・海外(中国)

2工場・3製作所

ISO14001(環境マネジメントシステム)

生産5拠点全てで認証取得

CO₂排出量削減 ... 太陽光発電システム導入や廃熱の再利用装置などの取り組みにより排出量削減

環境に配慮した製品の開発

■ 近年の新製品

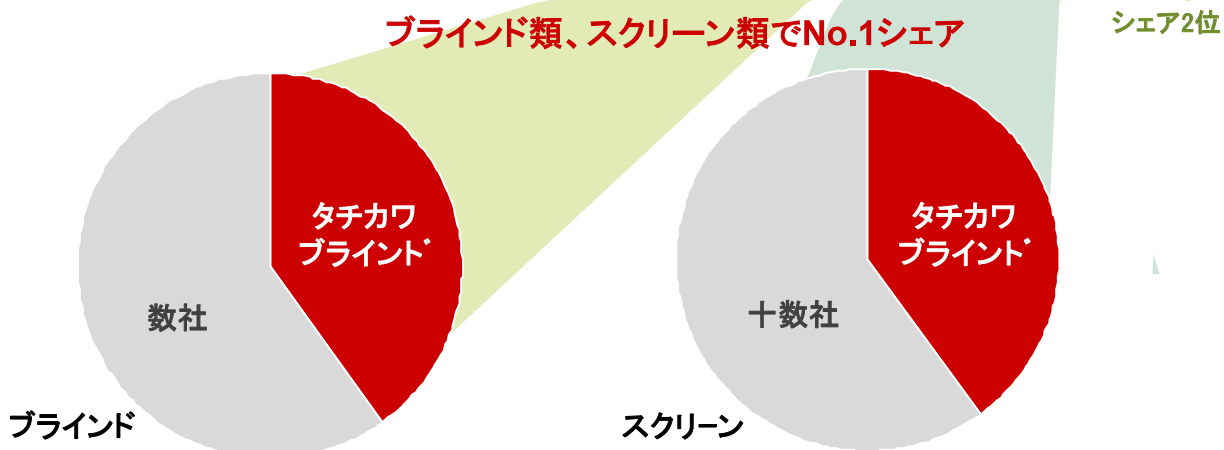
- ・パーフェクトシルキー チェーン .. 高い遮蔽性能により、室内の省エネ性に貢献。
- ・ローリーESSクワトロタコス II .. スラット(羽根)を上部和下部で異なる角度に設定可能。(上下分割制御) 昼光利用による照明の消費エネルギーを削減。
- ・間仕切 プレイス スウィング .. 空間を間仕切ること、空調効率を改善。
- ・スマートインテリアシェード ホームタコス .. 住宅向け電動製品で窓辺のIoT化。遮光や採光を効率よく調整し、室内の快適さと省エネ効果を実現。

■ 環境配慮のスラット(羽根)や生地

- ・遮熱コートスラット .. 高い反射率で日射をはね返し熱を低減。
- ・省エネ生地 .. 使用している糸の効果により日射の透過を抑え、反射させる。
- ・グリーン購入法適合生地 .. 再生ポリエステルを生地全体重量比25%以上使用している生地にグリーン購入法適合マークを表示。

2019年度 窓まわりインテリア市場

卸売ベース 約 2,000億円 (内、ブラインド類 約 908億円)



(社) 日本インテリアファブリックス協会資料 他より推定

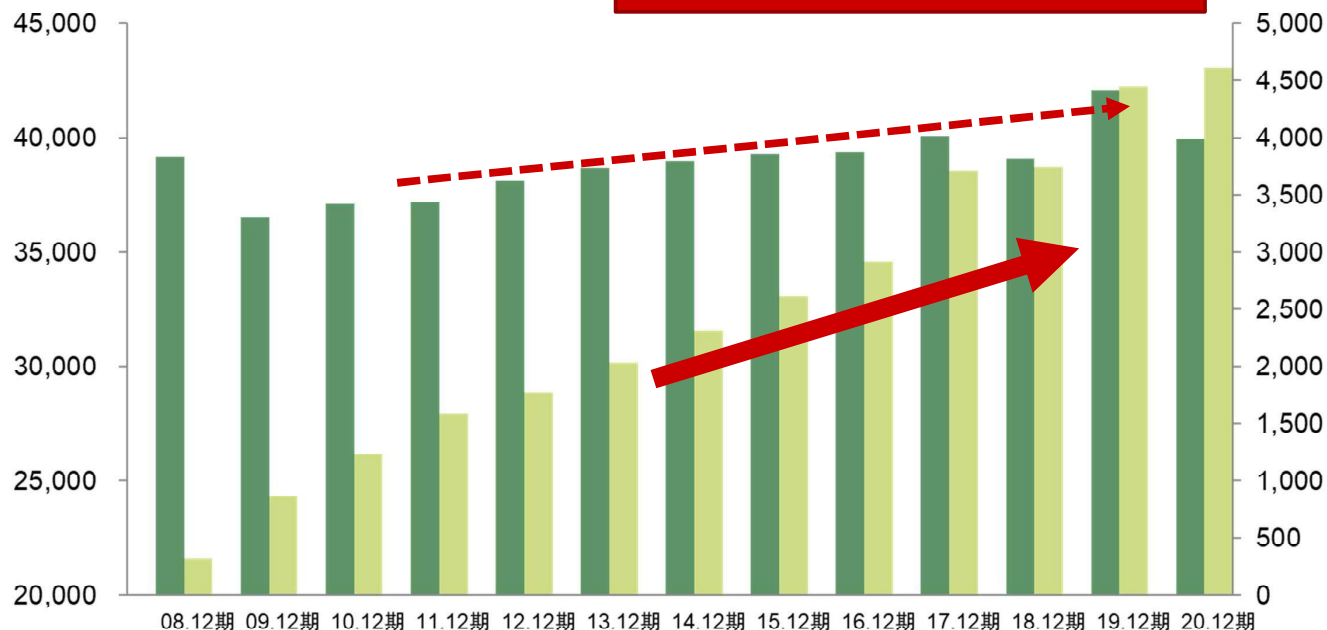
業績の推移

2008年以降、収益改善。増益継続。

(単位：百万円)

売上の増加傾向に従い、利益体質に転換

(単位：百万円)



■ 売上高 (左軸) ■ 経常利益 (右軸)

2. 決算概況

12

2020年12月期 連結業績

連結累計期間

売上高 **399**億80百万円

営業利益 **45**億35百万円

経常利益 **46**億15百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

29億00百万円

- 売上高は前期比△4.9%減少
- 営業利益は前期比+3.6%増加
- 経常利益は前期比+3.9%増加
- 親会社株主に帰属する
当期純利益は前期比+5.0%増加

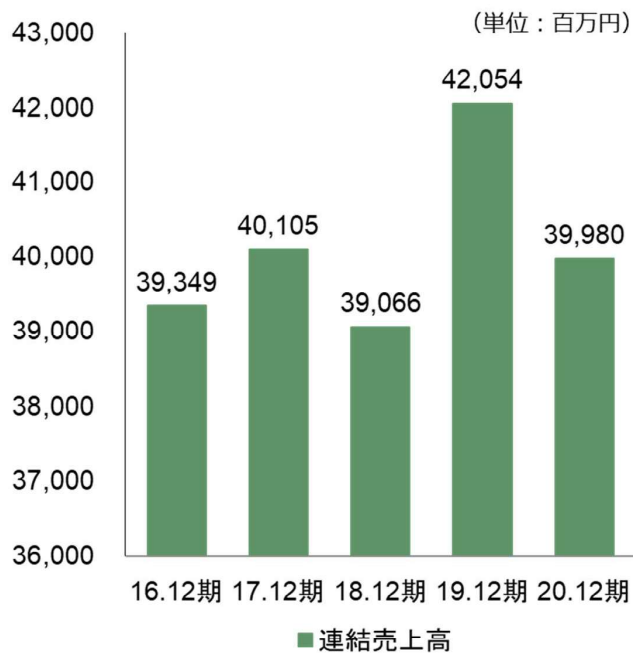
国内経済

新型コロナウイルス感染症拡大により社会経済活動が制限、緊急事態宣言解除後は一時的に企業活動や個人消費活動に一部持ち直しの動きも見られたが、先行き不透明な状況で推移。

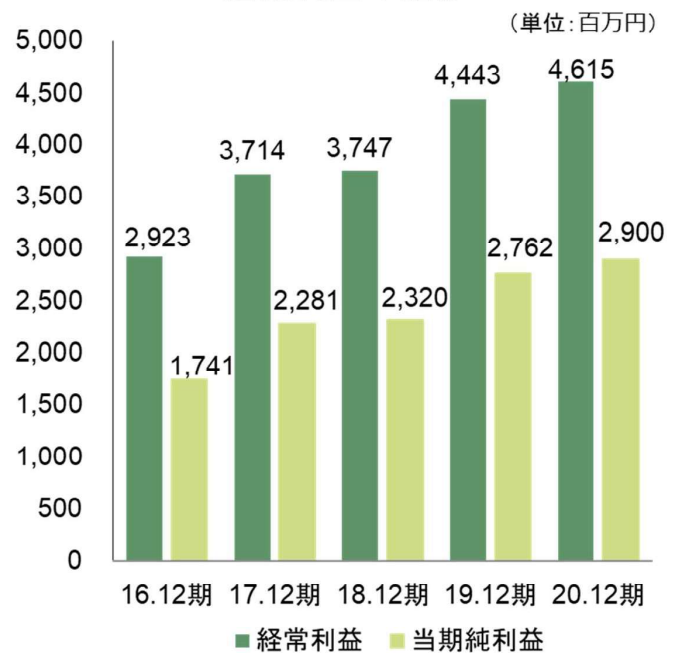
建設・住宅業界においては、世帯数減少や住宅の長寿命化等により、新設住宅着工戸数が年々減少傾向にある等、厳しい環境が続いた。

13

連結売上高の推移

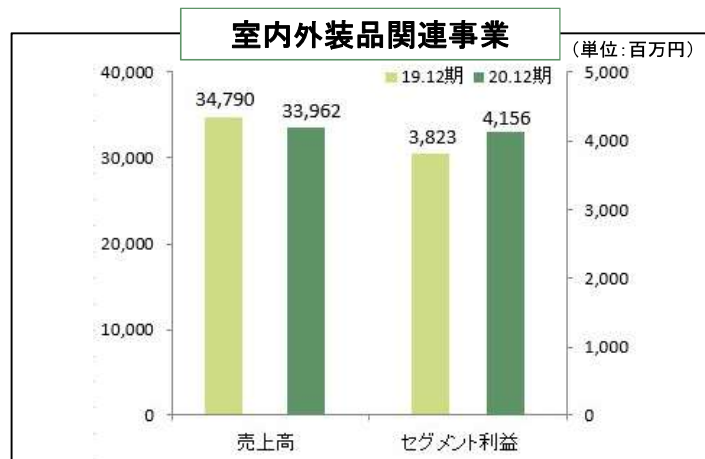


連結利益の推移

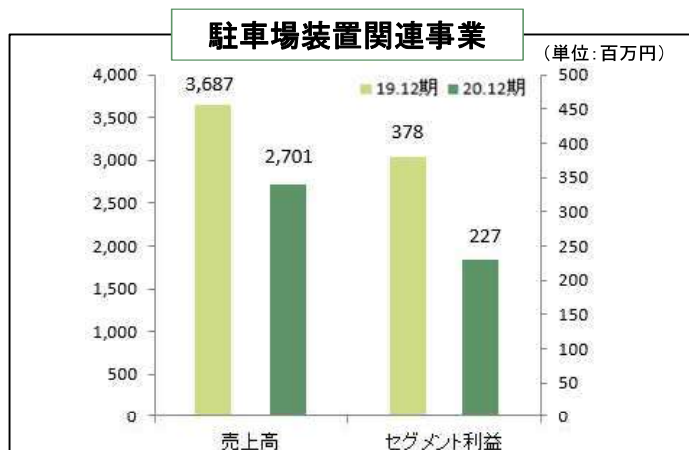


セグメント概況

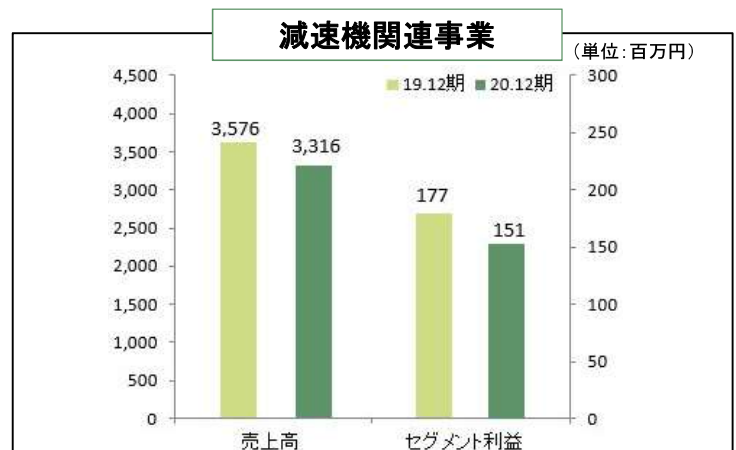
室内外装品関連事業



駐車場装置関連事業



減速機関連事業



2020年の主な新製品

高性能製品を中心に 製品ラインナップを拡充



「透明ロールスクリーン」(2020年6月発売)



「スマートインテリアシェード ホームタコス」(2020年7月発売)



間仕切「プレイス スウィング」(2020年10月発売)

2020年6月発売

対面での飛沫感染防止に 「透明ロールスクリーン」

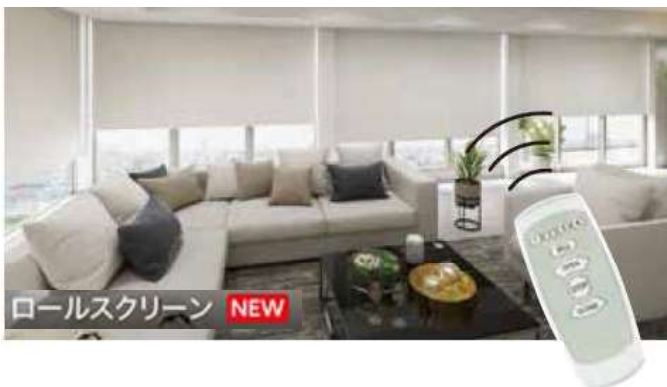
- ・新型コロナウイルス感染症の飛沫感染防止に
- ・5mm単位でオーダー対応
- ・規格品2サイズを用意
- ・「防災認定品スクリーン」なので安心



2020年7月発売

住宅向け電動製品 「スマートインテリアシェード ホームタコス」

- ・リモコンやスイッチで簡単に操作
- ・充実の電動製品ラインナップ
- ・スマート家電リモコンと組み合わせることで、スマートフォンやスマートスピーカーでも操作が可能(IoT対応)



18

2020年10月発売

和モダンなパネルデザインをラインナップ 間仕切「プレイス スウィング」

- ・障子をモチーフにした35種類のパネルデザインをラインナップ
- ・パネルデザインのオーダー製作ができ、こだわりの空間を提案



19

貸借対照表・キャッシュフロー

【貸借対照表】

単位：百万円（ ）内は前期末比増減

≪主な変動要因≫ 流動資産 ・現金及び預金の増加(+3,391) ・受取手形及び売掛金の減少(Δ1,583) 固定資産 ・有形固定資産の増加(+643) ・投資有価証券の減少(Δ357)	総資産57,779百万円(+1,397)		≪主な変動要因≫ 負債の部 ・支払手形及び買掛金の減少(Δ801) 純資産の部 ・利益剰余金の増加(+2,355)
	流動資産 39,268(+1,084)	負債 13,346(Δ837)	
	固定資産 18,510(+312)	純資産 44,432(+2,235)	

【キャッシュフロー計算書】

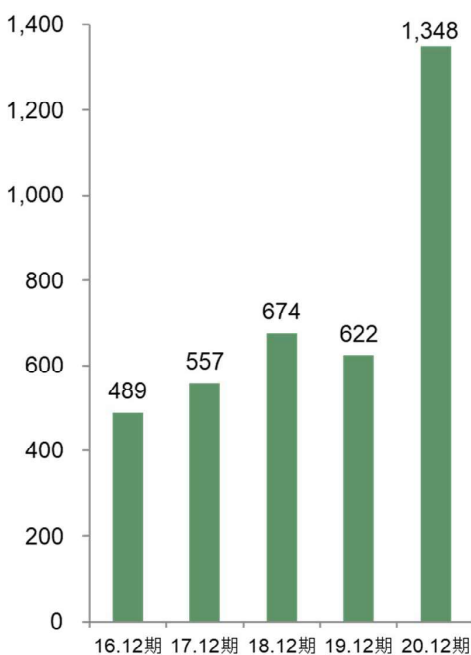
	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	+2,867百万円	+5,167百万円	+2,299百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ1,272百万円	Δ1,124百万円	+147百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ651百万円	Δ653百万円	Δ1百万円

20

2020年12月 連結主要項目概要

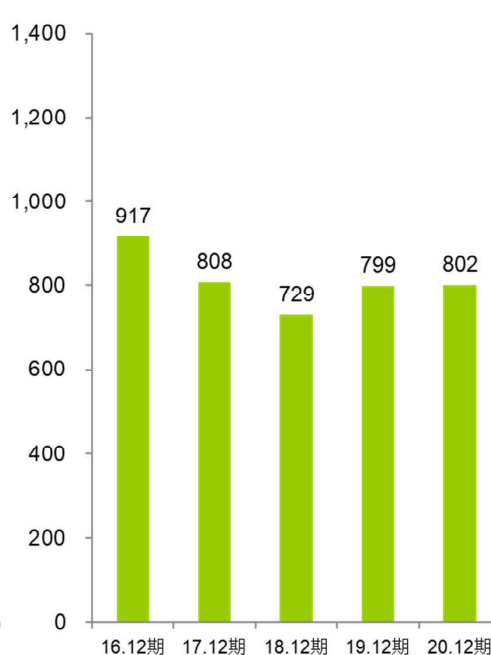
①設備投資額

(単位：百万円)



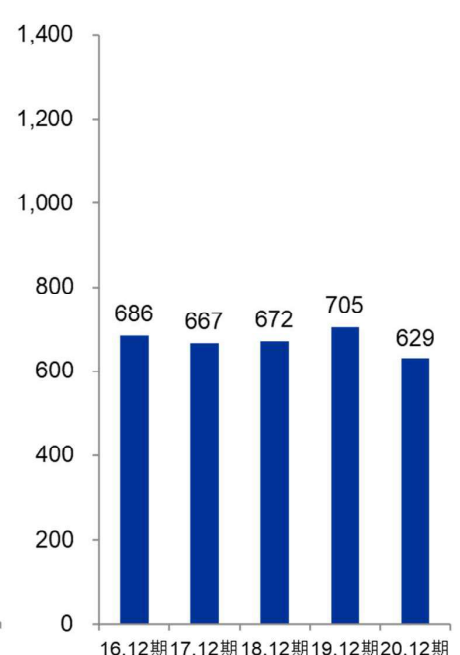
②減価償却費

(単位：百万円)



③研究開発費

(単位：百万円)



21

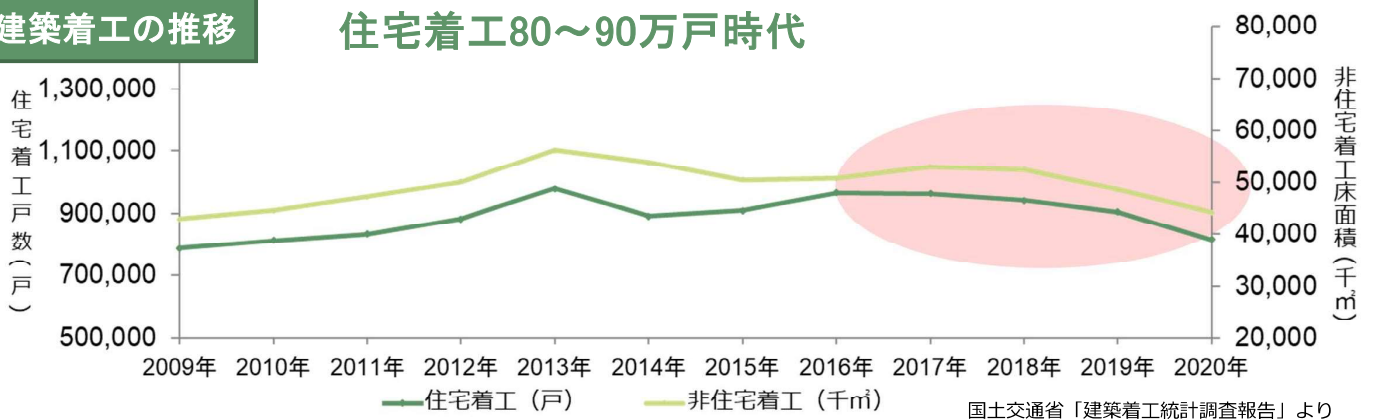


3. 今後の見通し

市場環境

建築着工の推移

住宅着工80~90万戸時代

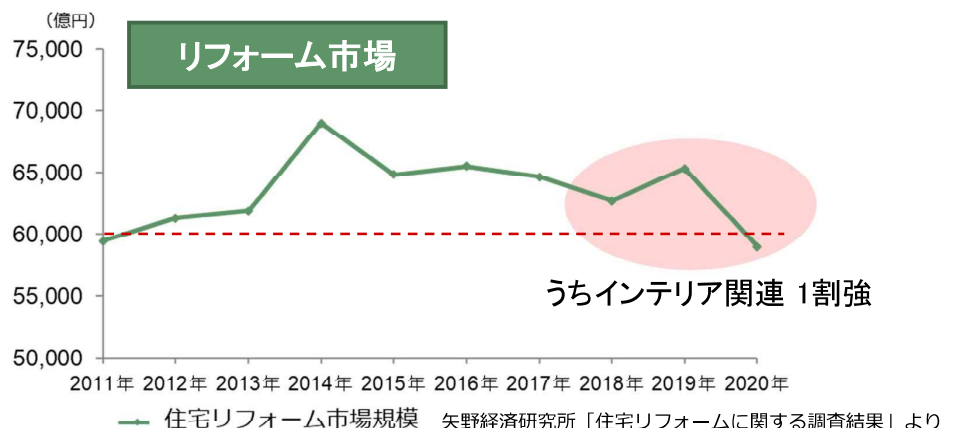


住宅ストック 需要

総世帯数
約 5,000万世帯

総務省「住宅・土地統計調査」より

リフォーム市場



取り巻く環境

- 国内新築市場の停滞(新設住宅着工80万戸水準)
- 少子高齢化の進行
- 環境問題の深刻化

当社の 経営戦略

1. 既存事業領域の深耕

当社グループの主要な収益源である室内外装品関連事業において、お客様の視点に立ち、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりができる顧客満足度の高い製品を開発・提供することで需要を創造し、既存事業領域を深耕する。

2. 成長分野への取り組み強化

中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、リフォーム需要や海外市場などの成長分野への取り組みを強化する。

3. 生産体制の強化

室内外装品関連事業においては、生産能力の向上や老朽化対策等を目的に滋賀工場における大型投資を推進し、生産体制の強化を図る。
減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮、工場稼働率の向上を図り、顧客対応力を強化する。

4. 経営資源の整備

将来に亘る安定的な収益基盤の構築及びリスクマネジメント強化を図るため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。

2021年 期初計画

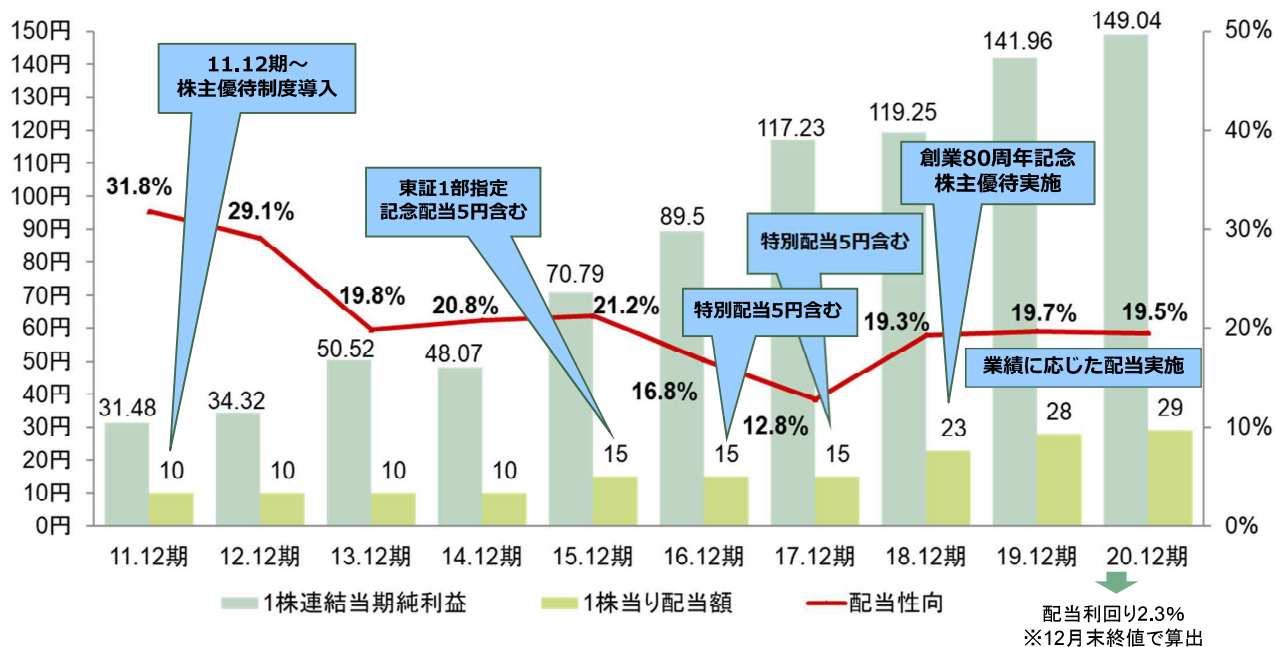
(単位: 百万円)

連結経営指標	2020年実績	2021年	
		業績見通し	前期比
連結売上高	39,980	42,040	+5.2%
連結営業利益	4,535	4,800	+5.8%
連結経常利益	4,615	4,850	+5.1%
連結当期純利益	2,900	3,050	+5.2%
1株当たり当期純利益	149.04円	156.75円	+5.2%

配当方針

財務基盤の強化と高収益性の実現による持続的成長の為、内部留保を充実させ将来の事業展開に備えるとともに、企業価値および株主価値を向上させることを目的として、業績に応じた配当を適宜判断し行う方針としております。

2021年度の配当金につきましては、業績に応じた配当を予定しております。



立川ブラインド工業株式会社

(東京証券取引所 市場第1部 証券コード7989)

【お問い合わせ】 総務部 法務広報課

03-5484-6140

<https://www.blind.co.jp/>